

# 令和3年度全国学力・学習状況調査における 岡崎市立小中学校児童生徒の結果について

岡崎市教育委員会

## 1 調査分析概要（全国の平均正答率と比較して）

### （1）全体の様子

小学校においては、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」が「できている」状況である。算数の「数と計算」「図形」については「たいへんよくできている」「測定」は「よくできている」、「変化と関係」、「データの活用」については「できている」状況である。

中学校においては、国語、数学についてどの項目も「できている」状況である。

### （2）小中学校別各教科に関する問題の様子

#### 《小学校6年生》

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文の中における主語と述語や修飾と被修飾との関係を捉える力がたいへん優れている。</li> <li>学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で使う力がよく身に付いている。</li> <li>他者の考えを的確に捉え、自分の考えをまとめる力が身に付いている。</li> <li>文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する力がやや弱い。</li> <li>自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える力が弱い。</li> </ul>
算数	<p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、必要な数量やその関係を捉えながら、結果を適切に導く力がたいへん優れている。</li> <li>基本図形や、複数の図形を組み合わせた図形の面積を求め方力がたいへん優れている。</li> <li>ある量の何倍かを小数を用いて示す力がたいへん優れている。</li> <li>問題を統計的に解決するために、どのようなデータを、どのように集めるかを判断する力はよく身に付いているが、データを表などに分類整理する力が弱い。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童は、そうでない児童に比べ高い正答率を得ている。</li> <li>「携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない」と答えた児童は高い正答率を得ている。また、1日当たりのテレビゲーム（コンピュータ、携帯型、携帯電話、スマートフォンのゲームを含む）をする時間が短いほど高い正答率を得ている。</li> <li>「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と回答した児童は高い正答率を得ている。</li> <li>読書については、時間が長いほど正答率が高いというわけではない。家庭学習の時間についても同様の結果が見られる。時間の長さではなく、主体的、効率的に取り組むことが効果を高められていると考えられる。</li> </ul>
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や社会に関わる活動に参加している児童の割合は、全国平均を上回っている。</li> <li>毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりする児童の割合は、全国平均を下回っている。</li> </ul>

《中学校3年生》

調査結果から捉えられる傾向	
国語	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読んだり、登場人物の言動の意味を考えたりしながら、内容を理解する力が身に付いている。</li> <li>・文脈に即して漢字を正しく読む力が身に付いている。</li> <li>・話合いの場面において、質問の意図を捉えたり、話す内容を考えたりする力は身に付いているが、話合いの話題や方向を捉える力がやや弱い。</li> <li>・相手や場に応じて敬語を適切に使う力が弱い。</li> <li>・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを表す力が弱い。</li> </ul>
数学	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・示された場面を解釈し、方程式に表す力がたいへん優れている。</li> <li>・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る力が身に付いている。</li> <li>・選択肢から正答を選んだり、計算問題を解いたりするなど、数学的な技能は身に付いているが、考えを記述して説明する力がやや弱い。</li> <li>・平行四辺形など、図形が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する力が弱い。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝食を毎日食べる」「起床時刻が決まっている」「就寝時刻が決まっている」など、規則正しい生活を送る生徒の方が、高い正答率を得ている。</li> <li>・「新聞を読んでいる」生徒は、「読んでいない」生徒に比べ、正答率が高い。様々な事象に興味をもち、情報を得ることに楽しさを感じる生徒の方が、高い正答率を得ている。</li> <li>・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」生徒ほど、正答率が高い。自分に必要なことを考え、主体的に取り組める生徒が高い正答率を得ている。</li> </ul>
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人の役に立つ人間になりたい」「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っており、思いやりのある生徒が多い。</li> <li>・地域や社会に関わる活動に参加している生徒の割合は、全国平均を上回っている。</li> </ul>

## 2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

- (1) 国語、算数・数学における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係を詳細に分析し、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を把握します。
- (2) (1)の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事等が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校で行っている「教育診断アンケート(学校評価)」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むよう指示します。
- (4) 教育委員会と学校は、家庭や地域と連携しながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

## 3 留意点

- (1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。
- (2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部です。
- (3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。
- (4) 家庭では、得意なこと・不得意なことを知り、また生活習慣の充実を図るなど、児童生徒が学習に意欲をもって取り組める励ましや環境づくりをお願いします。